

どの具体的な場を通して、今もなお形作られている。

本シンポジウムでは、被災地の語りの変遷、記録と風化の問題、世代間継承の課題、そして国レベルの科学政策・防災政策との接点などを議論する。

災禍の「記憶」を固定化されたものとしてではなく、社会とともに変容する動的なプロセスとして捉え、未来の備えや共生のあり方を考える契機としたい。

【プログラム】 <https://krs.bz/scj/c?c=472&m=64083&v=10a45e10>

【問い合わせ先】

豊橋技術科学大学 小野悠

メールアドレス： [ono.haruka.ac\(a\)tut.jp](mailto:ono.haruka.ac(a)tut.jp) ※(a)を@にしてお送りください。

■■-----

3. 【お知らせ】 3月の学術フォーラム・公開シンポジウム等の開催予定について

-----□□

3月の学術フォーラム・公開シンポジウム等の開催予定について、ウェブサイトからご覧になれます。
(令和8年2月27日日本学術会議記者会見資料)

【～3月9日】 <https://krs.bz/scj/c?c=473&m=64083&v=b52fce1e>

【3月10日～】 <https://krs.bz/scj/c?c=474&m=64083&v=7b7f32b6>

■■-----

4. 【お知らせ】 特設ウェブサイト 日本学術会議の法人化について

-----□□

令和7年6月11日に日本学術会議法が成立し、日本学術会議は、令和8年10月1日に法人へ移行することとなりました。こちらのページでは、法人化の準備状況等を掲載しております。

<https://krs.bz/scj/c?c=475&m=64083&v=def4a2b8>

日本学術会議 YouTube チャンネル <https://krs.bz/scj/c?c=476&m=64083&v=eb1914eb>

日本学術会議公式X <https://krs.bz/scj/c?c=477&m=64083&v=4e9284e5>

=====

日本学術会議ニュース・メールの転載は自由ですので、関係団体の学術誌等への転載や関係団体の構成員への転送等をしていただき、より多くの方にお読みいただけるようお取り計らいください。

過去のニュース・メールは、日本学術会議ウェブサイトに掲載しております。

<https://krs.bz/scj/c?c=478&m=64083&v=acc9ebfa>

【本メールに関する問い合わせ】

本メールは、配信専用のアドレスで配信されており返信できません。本メールに関する問い合わせは、下記のURLに連絡先の記載がありますので、そちらからお願いいたします。

=====

発行：日本学術会議事務局 <https://krs.bz/scj/c?c=479&m=64083&v=09427bf4>

〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34